

2024年3月期
第2四半期決算説明資料

TOYO
東洋機械金属株式会社

2023年10月26日

証券コード
6210

インデックス

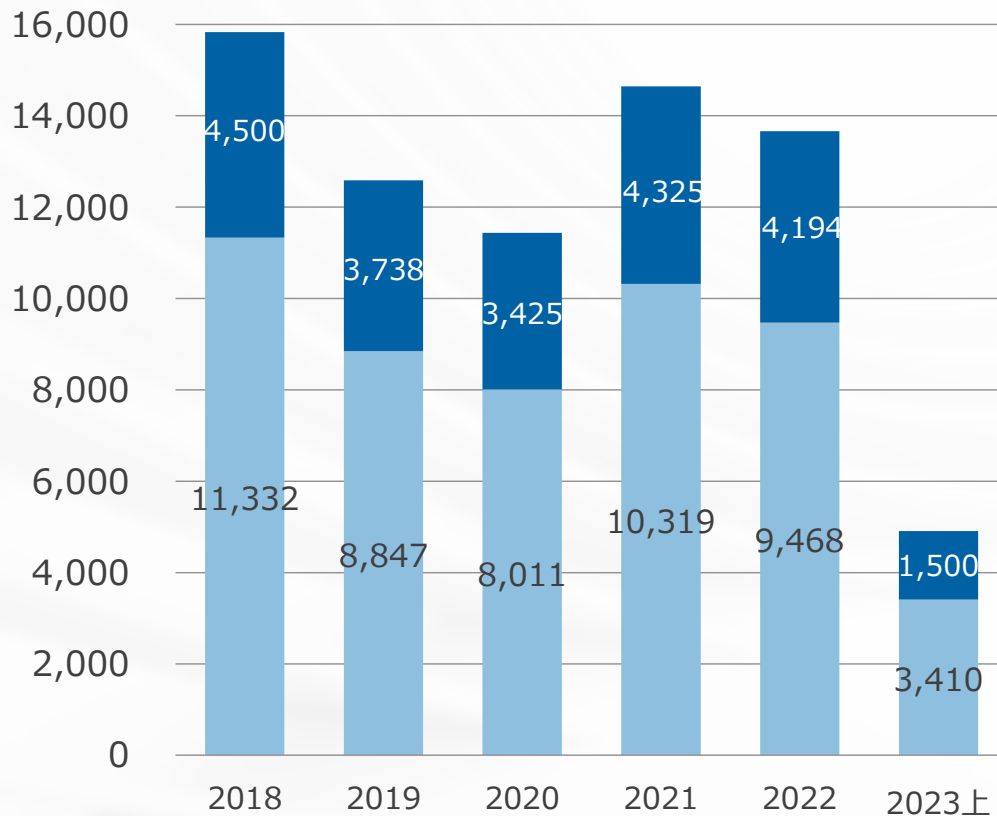
1. 2024年3月期 第2四半期業績概要	2
2. 2024年3月期 通期業績予想	9
3. トピックス	18
4. <Appendix>	21

2024年3月期 第2四半期業績概要

事業環境の概要

景気は自動車関連を中心に回復の兆しがあるものの、
金利高止まりや物価上昇等の影響を受け、射出成形機の需要は低迷している

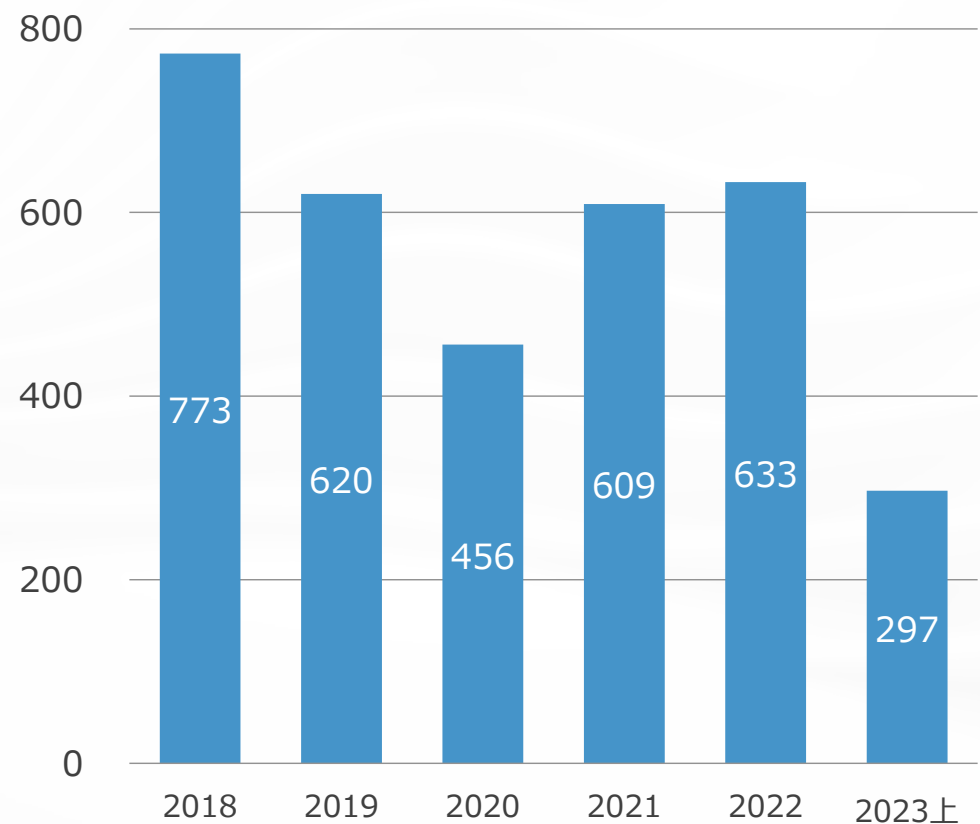
射出成形機出荷台数



■ 射出成形機200t未満 ■ 射出成形機200t以上

出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン出荷台数



■ ダイカストマシン

出典：日本ダイカストマシン工業会

2024年3月期 第2四半期経営成績

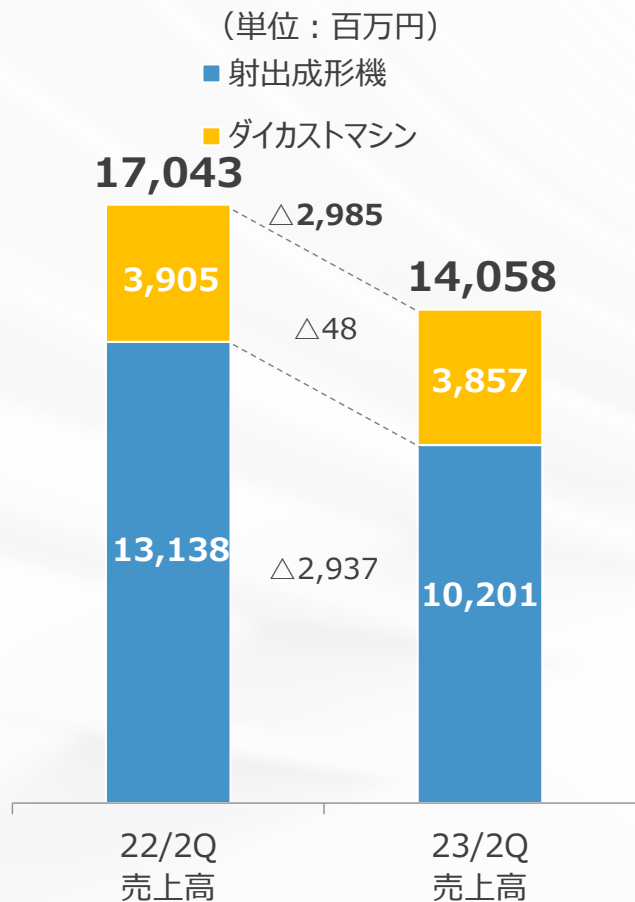
売上はアジアの自動車、生活用品関連向けに増加したものの、中国・米国・国内で減少
利益は売上物量減少や工場操業度低下、部材調達価格の高騰の影響により減少

項目 (単位：百万円)	2022/2Q 実績	2023/2Q 実績	前期比 増減	前期比 増減率	2023/2Q 前回予想	計画比 増減
受注高	18,004	13,084	△4,920	△27.3%	17,500	△4,416
売上高	17,043	14,058	△2,985	△17.5%	15,000	△942
営業利益	660	2	△658	△99.7%	△400	+402
営業利益率	3.9%	0.0%	△3.9P	-	△2.6%	+2.6%
経常利益	781	55	△725	△92.9%	△300	+355
親会社株主に帰属 する四半期純利益	238	△318	△557	-	△470	+152
1株当たり四半期 純利益	11.64円	△15.51円	△27.15円	-	△22.90円	+7.39円
<参考> 為替レート(USD)	145円	150円	+5円	+3.4%	145円	+5円

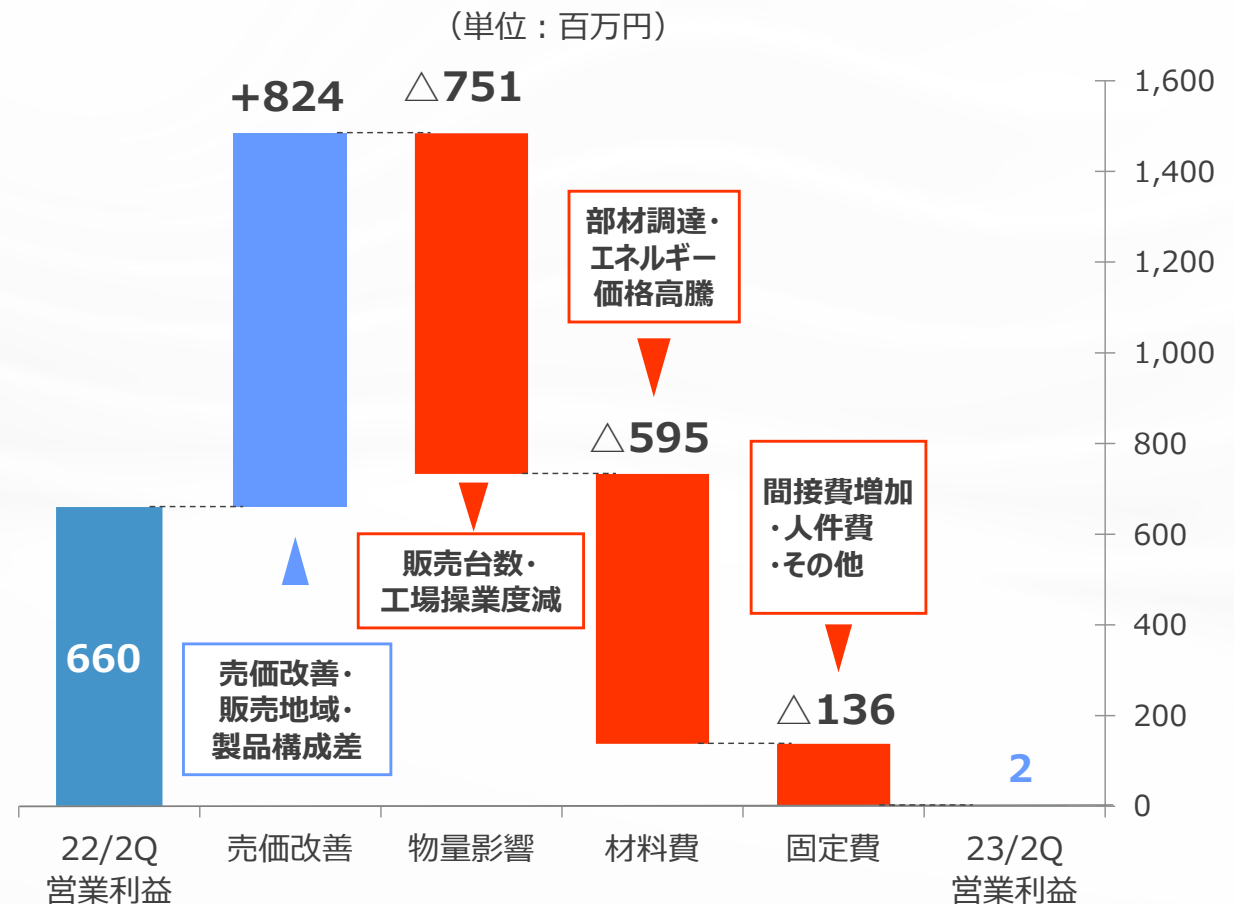
売上高・営業利益の増減要因分析

売上高は射出成形機及びダイカストマシン共に減少
 営業利益は販売台数・工場操業度減少、部材調達価格の高騰が影響し、2百万円に減少

売上高



営業利益増減要因分析



製品別受注高・売上高・受注残高

受注高は130億円（前期比△49億円）、受注残高は79億円（前期比△60億円）

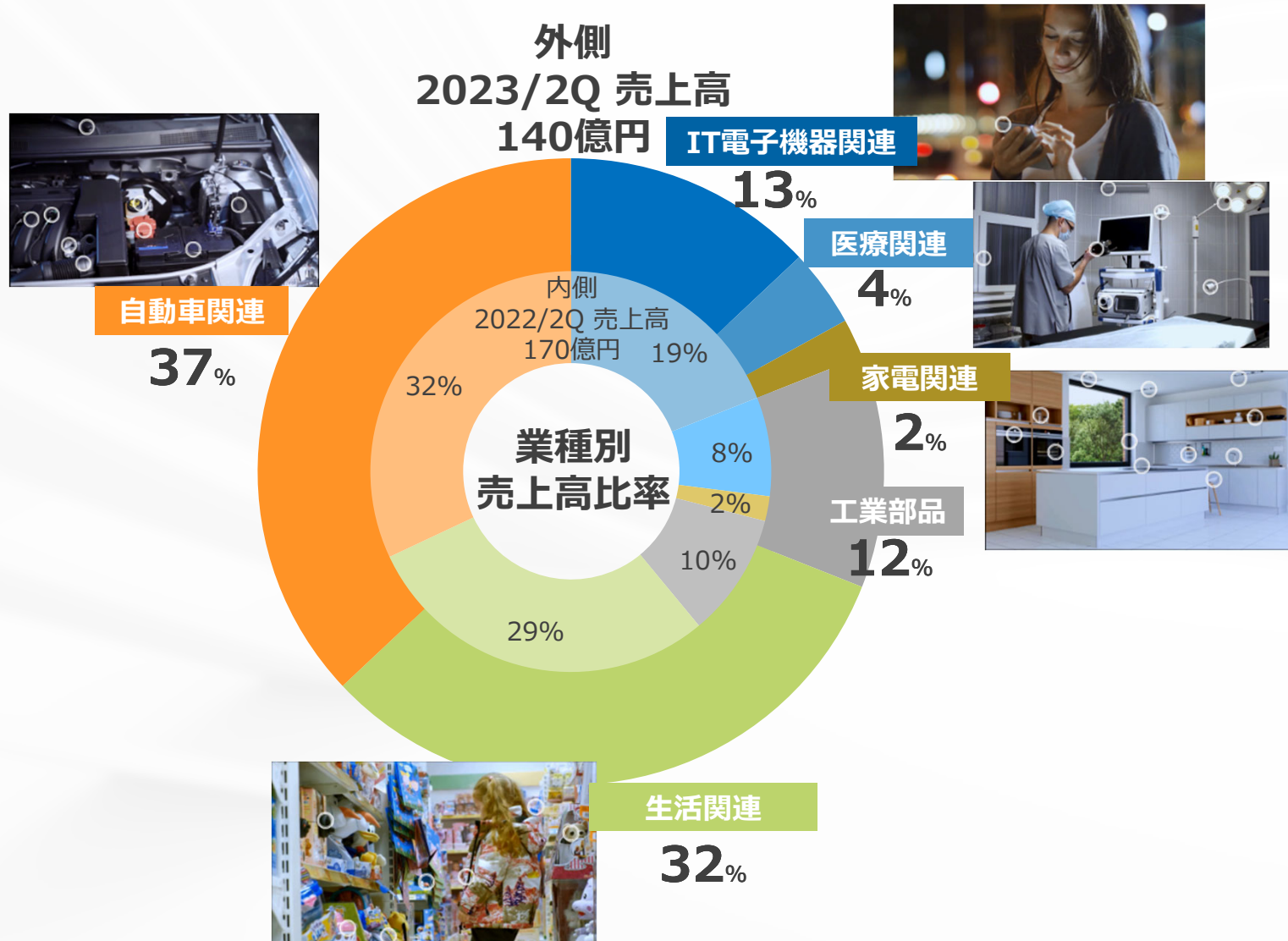
射出成形機 (単位:百万円)	2022/2Q 実績	構成比	2023/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	14,322	80%	9,509	73%	△4,813	△33.6%
(内、海外)	(10,558)	(74%)	(6,340)	(67%)	(△4,218)	(△40.0%)
売上高	13,138	77%	10,201	73%	△2,937	△22.4%
(内、海外)	(9,715)	(74%)	(7,533)	(74%)	(△2,182)	(△22.5%)
受注残高	10,461	75%	5,605	70%	△4,856	△46.4%

ダイカストマシン (単位:百万円)	2022/2Q 実績	構成比	2023/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	3,682	20%	3,575	27%	△107	△2.9%
(内、海外)	(2,527)	(69%)	(2,620)	(73%)	(+93)	(+3.7%)
売上高	3,905	23%	3,857	27%	△48	△1.2%
(内、海外)	(2,865)	(73%)	(2,810)	(73%)	(△55)	(△1.9%)
受注残高	3,552	25%	2,385	30%	△1,167	△32.9%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別売上高の動向

自動車や生活用品関連の比率は増加
IT電子機器や医療機器関連の比率は減少



【自動車関連】

東南アジア向けの射出成形機や国内向けのダイカストマシンが増加

【IT関連】

中国のスマートフォンやパソコン、その関連付属商品向けの小型射出成形機が減少

【生活関連】

欧州向けの中大型射出成形機が増加

【工業製品】

国内向けの射出成形機が堅調

【家電関連】

東アジア向けのダイカストマシンが堅調

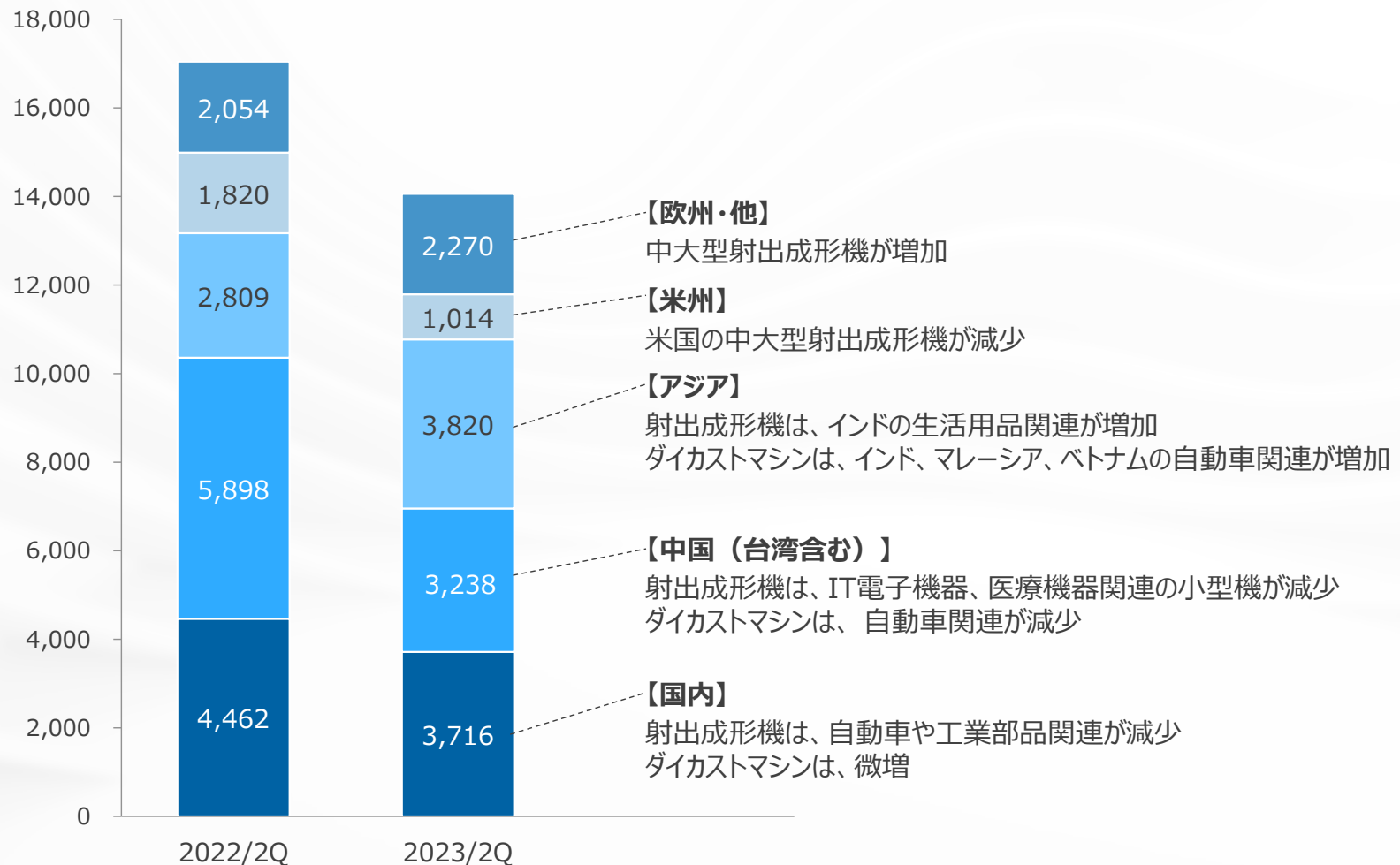
【医療関連】

中国向けの射出成形機が減少

地域別売上高の動向

アジア、欧州・他は増加したが、国内、中国、米州で減少

地域別売上高推移 (単位:百万円)



2024年3月期 通期業績予想

経営理念・経営方針と2023年度までの基本方針

経営理念

新たな価値創造を通じて社会に貢献し、
一人ひとりが輝けるより豊かな未来を実現する

経営方針

製品 - 顧客満足を追求する独自技術で安心・安全・価値ある製品をお届けする
顧客 - 顧客からベストパートナーとして選ばれる企業を目指す
社員 - 全社員が自信と誇りを持って働ける活力ある職場づくりに努める
社会 - 希望と未来が描ける持続可能な明るい社会の実現に貢献する

基本方針

Customers'Value Up

顧客が抱えるモノづくり領域の課題を解決し、
顧客の付加価値向上に貢献する

QCDSの改善

周辺領域への
取り組み

持続的成長に向けた 新たな取り組み

自社・顧客・社会が持続的に成長できる仕
組みと体制を整備する

A I 技術
新素材対応

SDGs
ESG経営

経営基盤の刷新と強化

経営管理基盤と人材育成の仕組みを再構
築しコーポレート・ガバナンス体制のさらなる
強化を進める

経営管理
体制の強化

人材育成制度
の構築

2024年3月期 通期の業績予想

2023年度の通期見通しは、市場の需要は低調に推移すると予想され、部材調達価格高騰や生産減少に伴う工場操業度低下による固定費回収不足が予想される

項目 (単位：百万円)	2022年度 実績	2023年度 予想	前期比 増減	前期比 増減率	2023年度 前回予想
受注高	31,211	26,500	△4,711	△15.1%	35,000
売上高	35,298	27,500	△7,798	△22.1%	33,000
営業利益	1,319	100	△1,219	△92.4%	400
営業利益率	3.7%	0.4%	△3.3P	—	1.2%
経常利益	1,538	200	△1,338	△87.0%	600
親会社株主に帰属 する当期純利益	648	△320	△968	—	130
1株当たり 当期純利益	31.59円	△15.58円	△47.17	—	6.33円
<参考> 為替レート(USD)	134円	145円	+11円	+8.2%	145円

製品別 受注高・売上高・受注残高予想

受注高は265億円（前期比△47億円）、売上高は275億円（前期比△77億円）
受注残高は79億円（前期比△10億円）を予想

射出成形機 (単位:百万円)	2022年度 実績	構成比	2023年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	24,438	78%	19,300	73%	△5,138	△21.0%
(内、海外)	(17,710)	(72%)	(13,150)	(68%)	(△4,560)	(△25.7%)
売上高	27,419	78%	20,100	73%	△7,319	△26.6%
(内、海外)	(20,004)	(73%)	(14,400)	(72%)	(△5,604)	(△28.0%)
受注残高	6,297	70%	5,497	69%	△800	△12.7%

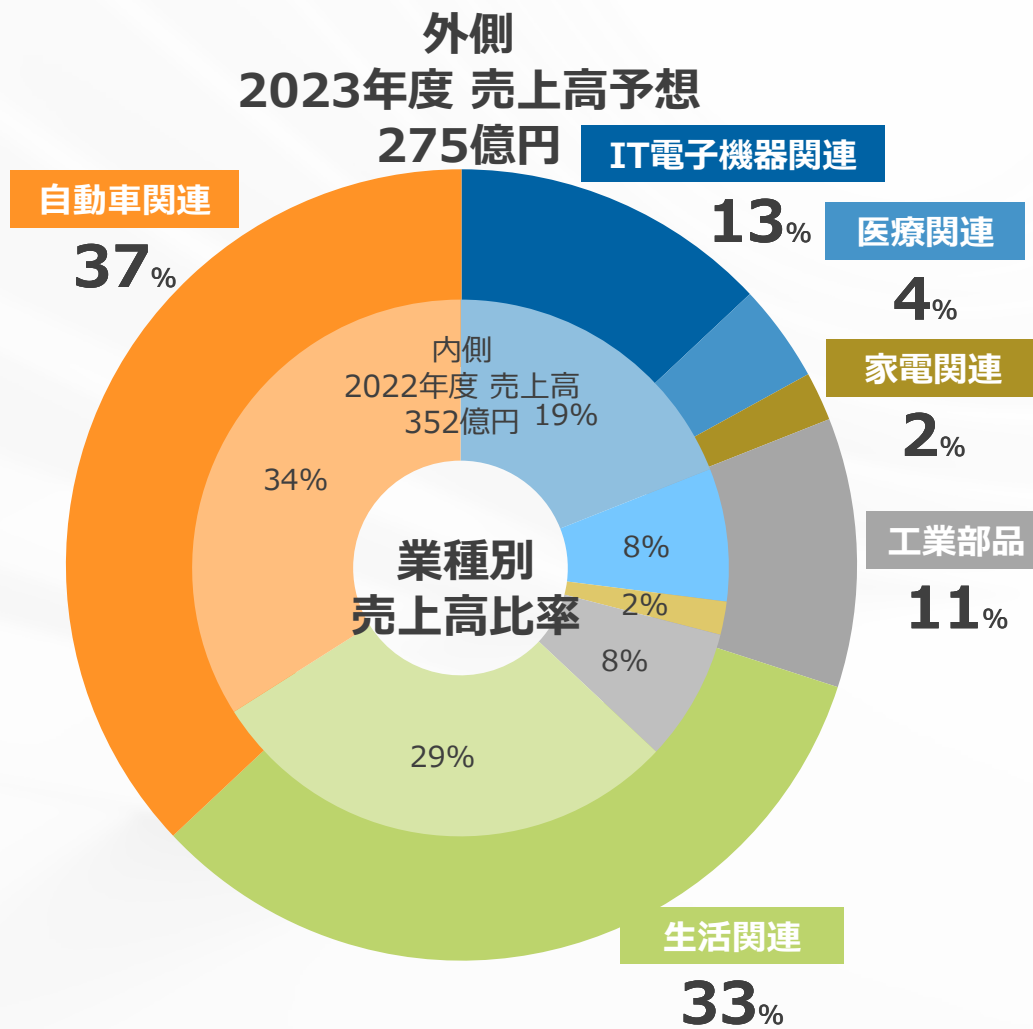
ダイカストマシン (単位:百万円)	2022年度 実績	構成比	2023年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	6,773	22%	7,200	27%	+427	+6.3%
(内、海外)	(4,636)	(68%)	(5,200)	(72%)	(+564)	(+12.2%)
売上高	7,879	22%	7,400	27%	△479	△6.1%
(内、海外)	(5,823)	(74%)	(5,400)	(73%)	(△423)	(△7.3%)
受注残高	2,667	30%	2,467	31%	△200	△7.5%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別・地域別 売上高予想

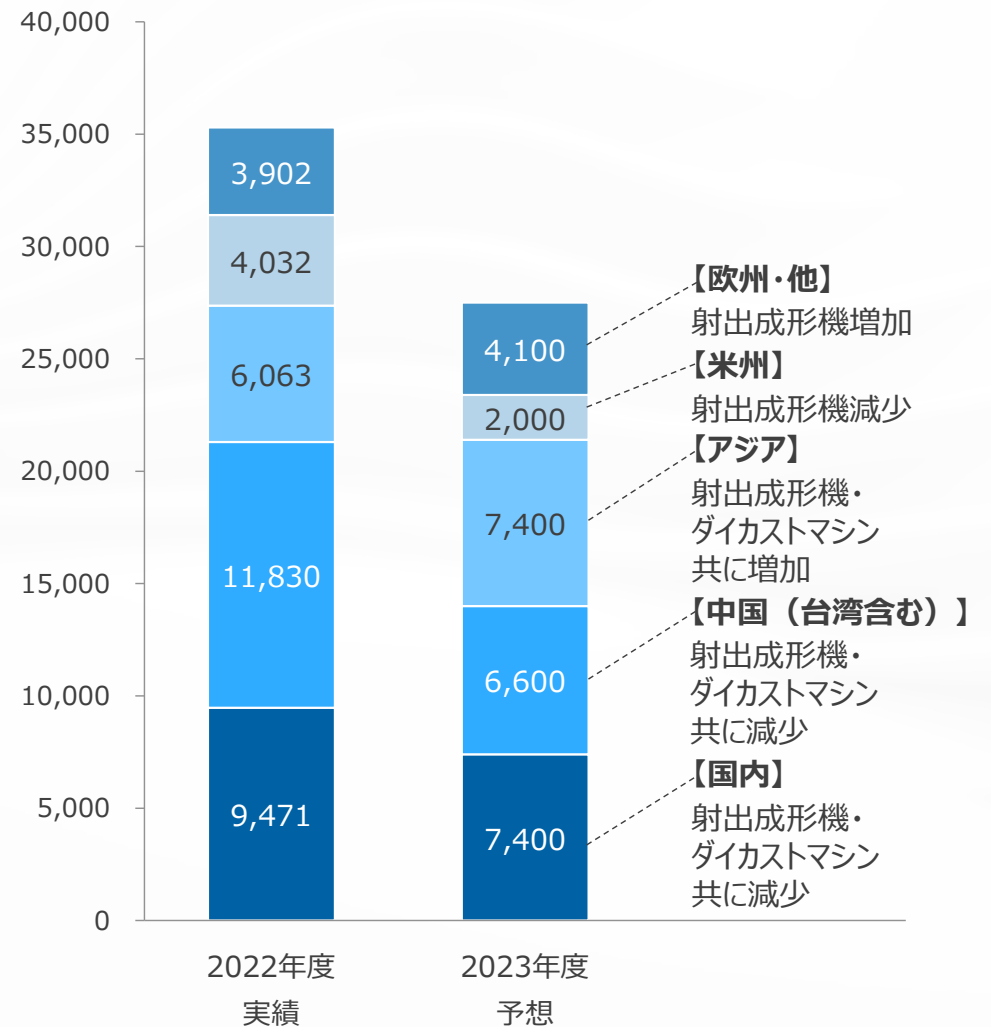
業種別では自動車・生活関連が増加、地域別ではアジア・欧州・他が増加する見込み
一方で、IT電子機器、医療機器関連が減少、地域別では国内・中国・米州が減少する見込み

業種別売上高構成予想



地域別売上高予想

(単位:百万円)



2024年度までの主な設備投資計画と減価償却費の推移

国内及び中国工場の生産設備を拡大

2023年度～2024年度までの主な生産設備投資計画

投資金額

(億円)

国内明石工場

30億円

中大型成形機組立工場増築
(25.3完成予定)

18

サービス物流センター移転新築
(23.11完成予定)

6

その他現有資産（有形・無形）維持・更新等

6

中国常熟工場（23.2完成生産開始）

5億円

第3期成形機組立工場（延べ床面積：約2,775
m²）

3

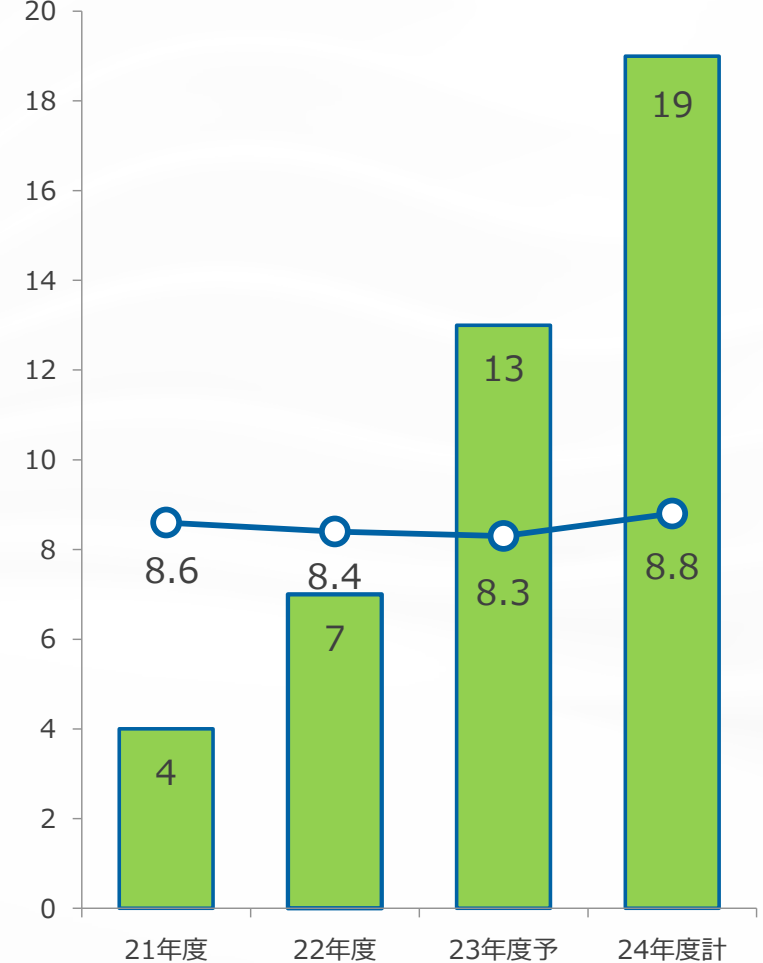
研究棟（延べ床面積：1,668m² 3階建て）

2

主な生産設備投資計画総額

35億円

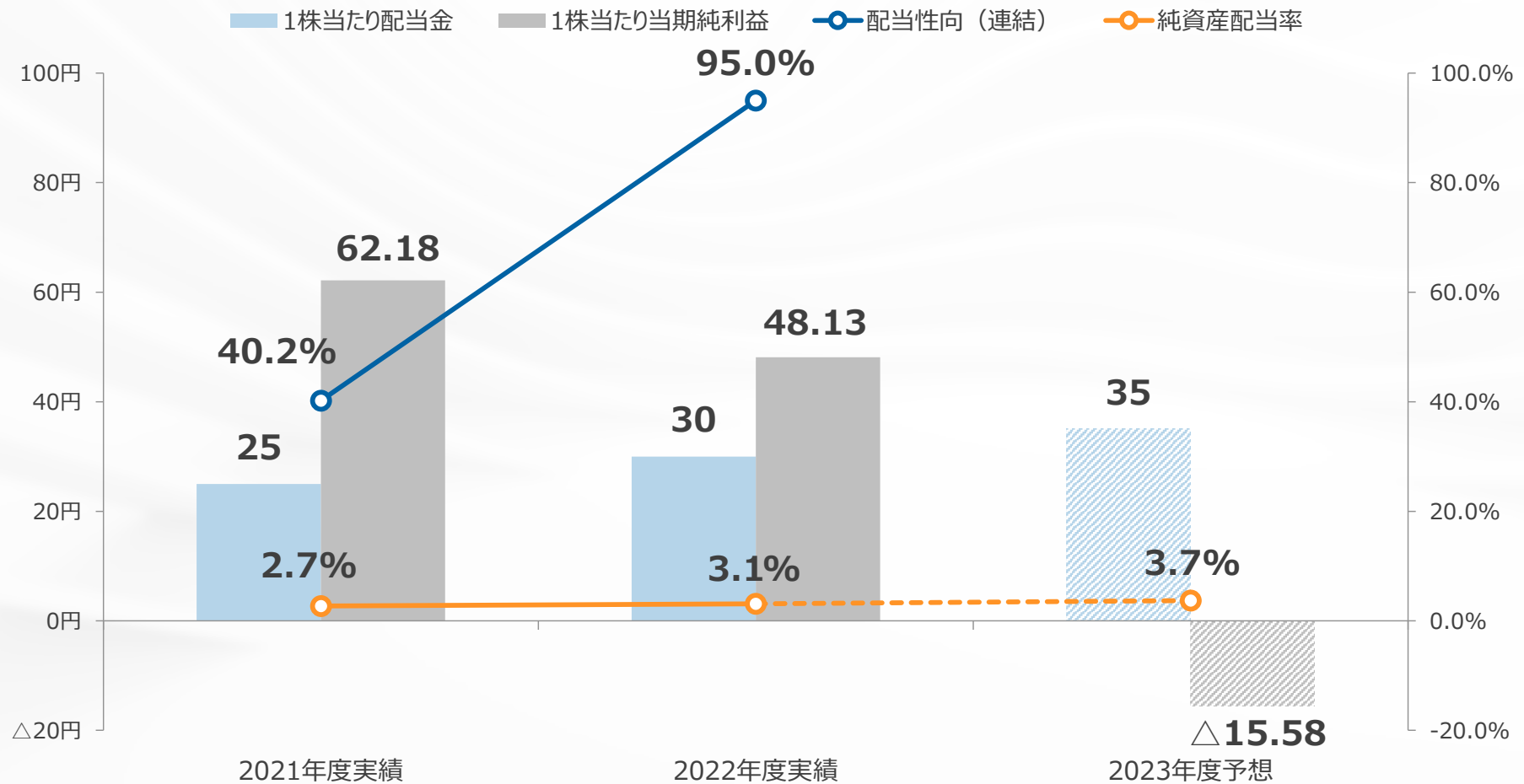
■ 投資額 ○ 償却費



株主還元について

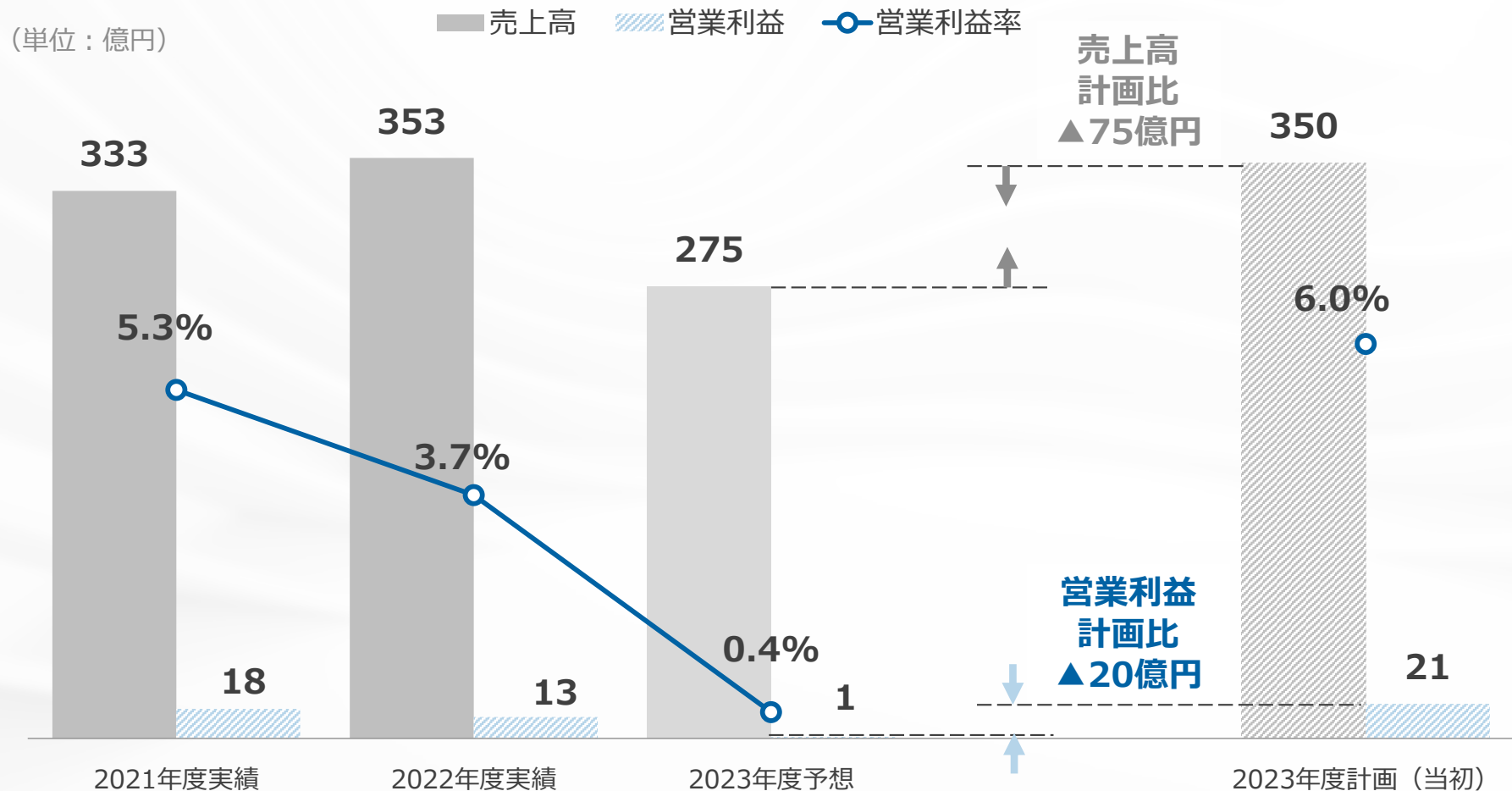
2023年度の中間配当金は、1株につき17円50銭を実施
2023年度の年間配当金は、1株につき35円の実施を予定
資本コストをより意識した経営とし、BS(貸借対照表)再構築と株主還元強化を継続

1株当たりの配当金・当期純利益、配当性向、純資産配当率



中期経営計画の進捗について

中計最終年度の2023年度は、売上高350億円・営業利益率6.0%を計画しておりましたが、昨年後半から市場の需要は減少してきており、また当初計画から想定を超える部材調達価格やエネルギー価格が高騰している状況を鑑み、売上高275億円・営業利益率0.4%の予想



※中期計画では、営業利益の額は開示していませんが、公表している売上高と営業利益率により計算した数値を記載

新・中期経営計画と今後の取り組みについて

- **新・中期経営計画（2024年度～2026年度）は、2023年7月から策定開始。2024年春頃に開示予定**
- **2030年までのパーパス・ビジョンを明確化すると共に、M&Aも視野に入れた成長分野への積極投資を基本として、資本コストや株価を意識した経営を推進し、更なる企業価値向上に努めます**
- **統合報告書にて開示しているマテリアリティを軸とした人的資本の強化など、サステナビリティへの取り組みも推進していきます**
※最新の「統合報告書2023」は2023年10月26日に当社のHPで発行

トピックス

トピックス①

射出成形機 展示会情報



IPF Japan 2023 (国際プラスチックフェア)【第10回】

- ◆ 会 期 2023年11月28日 (火) ~12月2日 (土)
- ◆ 会 場 幕張メッセ (千葉県)
- ◆ TOYO出展小間NO. 4ホール 42603

プラスチックとゴムにフォーカスした日本最大級のものづくり専門展。原材料からリサイクルまでプラスチックとゴムに関わる全てのプロセスを網羅した展示会であり、日本全国はもちろん、アジアを中心に世界中から業界関係者が3年に一度、一堂に会する展示会。

IPF Japan 2023に射出成形機のニューモデルを出展

S-HINスクリー搭載
バイオマス成形
Si-180-7 & Si-100-7

リサイクル材使用に
おける新提案
Si-80-7

Reborn, Greatest TOYO

異材質多色成形を身近に
小型射出ユニット搭載
Si-130-7

生産現場の効率化
稼働率向上/品質向上
T-Station Lite Ver. II

トピックス②

ダイカストマシン 電動機最新モデル「Ds-EX2 series」

Ds-EX2シリーズの主な新機能

■ 射出性能の強化

高速加速を可能にするシステムを搭載し、100Gを達成
電動駆動化により多段階での casting 圧力設定が可能

■ 省エネルギー

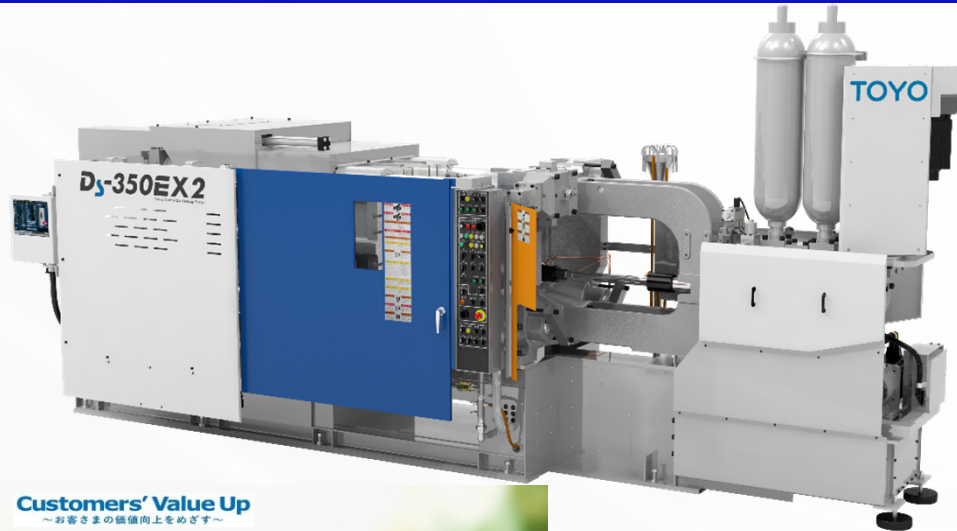
油圧ポンプをサーボモーターで駆動させるポンプ回転制御を搭載

■ 省スペース

増圧ユニットを縦方向に配置することで省スペース化を実現

■ 制御

油圧モデルで実績のある制御システム「SYSTEM 700EX」を搭載



Customers' Value Up
～お客様の価値向上をめざす～



TOYOは環境性能が高い製品を通じて
SDGsに貢献していきます。

BD-V7EX (油圧モデル) 従来シリーズ比

多段増圧
による
品質向上

CO2排出量
37%
削減

作動油量量
34%
削減

Ds-EX (電動モデル) 従来シリーズ比

高速加速度
100G
実現

省スペース化
539mm
全長短縮

昇圧性能
約**20%**
UP

環境配慮型の電動式モデルで射出性能の強化、省エネルギー、省スペースを実現

Appendix

貸借対照表 (B/S)

資産の部 (単位:百万円)	23/3末 実績	23/9末 実績	増減	コメント
流動資産	23,731	22,783	△948	棚卸資産は11億円増加しましたが、受取手形及び売掛金が25億円減少したこと等により、流動資産は9億円減少。
現金及び預金	6,502	7,294	+792	
受取手形及び売掛金	8,452	5,862	△2,589	
棚卸資産	7,391	8,573	+1,182	
固定資産	8,170	8,383	+213	有形固定資産が1億円増加したこと等により、固定資産は2億円増加。
有形固定資産	6,404	6,572	+167	
無形固定資産	438	426	△11	
投資その他資産	1,327	1,385	+57	
資産合計	31,901	31,167	△734	

負債・純資産の部 (単位:百万円)	23/3末 実績	23/9末 実績	増減	コメント
負債合計	11,916	11,456	△460	有利子負債が4億円増加しましたが、買掛金等の仕入債務が6億円減少したこと等により、負債合計は4億円減少。
支払手形及び買掛金	5,363	4,752	△610	
有利子負債残高	1,960	2,360	+400	
純資産合計	19,985	19,710	△274	前期の期末配当や親会社株主に帰属する当期純利益に係る利益剰余金が減少したこと等により、2億円減少。
負債純資産合計	31,901	31,167	△734	

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

TOYO

Customers' Value Up

～お客さまの価値向上をめざす～

連絡先 東洋機械金属株式会社 経営企画室
TEL. (078) 942-2345 (代表)
FAX. (078) 943-7275
URL. <http://www.toyo-mm.co.jp>